

ボーリング柱状図

調査名 第二種漁港 沖浦漁港水産物供給基盤機能保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. []

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	No. 1			調査位置	広島県豊田郡大崎上島町明石地内						北緯	34° 12' 21.07"								
発注機関	広島県西部建設事務所						調査期間	平成30年2月1日～30年3月3日												
調査業者名				主任技師			現場代理人	コア鑑定者		ボーリング責任者										
孔口標高	3.69m	角度	180° 上 下 0°	方位	北 0° 270° 西 0° 180° 南	地盤勾配	鉛直 90°	使用機種	D 1-B (東邦地下)	ハンマー落下用具	半自動落下									
総掘進長	25.00m							試錐機	NFD-13 (ヤンマー)	ポンプ	BG-3C (東邦地下)									
標尺	標高	層厚	深度	柱状図	土質区分	色相	相対密	相稠度	記事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験						原位置試験	試料採取	室内試験	掘進月日
(m)	(m) 3.69	(m) 0.05	(m) 0.05							深 度 (m)	10cmごとの打撃回数	打撃回数 / 貫入量(cm)	N 値	深 度 (m)	試験名および結果	深 度 (m)	試料番号	採取方法		
										10 20 30	0 10 20 30	50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 180 190 200 210 220 230 240 250	0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100 110 120 130 140 150 160 170 180 190 200 210 220 230 240 250							
1				コンクリート	灰				表層被覆コンクリート											
2				詰石	黒灰				コア長=10cm以下の硬質岩塊 礫間は大半が空隙 礫種は花崗岩、古生層(粘板岩)											
3	0.79	2.85	2.90	コンクリート	灰				護岸底面コンクリート											
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9	-5.11	5.60	8.80	シルト混じり捨石	暗灰	中位			捨石が主体であるが、礫率が低い、マトリックスが強烈シルトで占められるも、乱れている。											
10	-7.21	2.10	10.90																	
11																				
12																				
13																				
14																				
15																				
16																				
17	-13.01	5.80	16.70	粘土混じり砂	暗灰	緩			層相は上位に似るが、細粒分が混入する。											
18	-14.11	1.10	17.80	砂質粘土	暗灰	中位			含水中位、粘性中位 粗砂を多く含み、中間土状を呈する。											
19	-15.26	1.15	18.95																	
20																				
21																				
22	-18.11	2.85	21.80	礫混じり粘土質砂	暗青灰	中位 緩			崖縦堆積物 花崗岩起源の粗砂主体砂質土 より10mm程度の礫分、細粒分を含み、粒度分布に富む											
23																				
24																				
25	-21.31	3.20	25.00	風化花崗岩	黄褐色	極密			花崗岩の強風化帶 心部まで風化が進み土砂化が著しい 岩構造が不明瞭、残すも、指圧で容易に正斜され、砂螺旋状を呈する。 DII級、軟岩出露区分											

